

学習内容報告書

学校名	福井県小浜市立内外海小学校
授業者	野路拓史

1. 単元計画

1-1. 単元名

内外海の魅力を再発見しよう

1-2. 学年

4年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、国語

1-4. 単元の概要

地元の施設であるブルーパーク阿納を活用し、地域にある施設の良さと、それに携わっている地域の方々の思いに触れる。まずはシーカヤック体験を通して、身近な海の素晴らしさと観光資源である地域のレジャーについて学ぶ。

また、ブルーパーク阿納の体験プログラムを活用し、名勝「蘇洞門」を海から見学する。その帰りには、田鳥地区にある「沖の石」を見学する。さらに阿納で行われている「フグの養殖筏」を見学し、栽培漁業センターで見た稚魚がどれくらいの大きさに成長しているのかを観察したり、えさやりをしたりすることで養殖の仕事内容について知る。

小学校の校歌にある「天平の塩」を焼いた製塩遺跡が阿納地区にあったことから、施設を使って塩作り体験を行い、歴史や文化の面でも地域の魅力に迫る。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

地元にいると気づきにくい地域の魅力について、地域の方に教えてもらったり、体験したりすることで地域の観光産業の基盤となっている食や自然、レジャーなどについて学び、その素晴らしさを再発見することをねらっている。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

問題発見・解決能力

地域や社会における産業の役割を理解し、地域創生等に生かす資質・能力

自然環境や資源の有限性の中で持続可能な社会をつくる資質・能力

1-7. 単元の展開（全15時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 2	ブルーパーク阿納について知る。 シーカヤック体験の計画を立てる。	パンフレット、ホームページの提示
3 4	シーカヤック体験	阿納パドラーズクラブの方
5 6	体験したことをまとめる。 お礼の手紙の作成	
7 8 9	蘇洞門クルージング体験 (蘇洞門・沖の石・フグの養殖見学) 体験したことをまとめる	ブルーパーク阿納
10 11 12	塩作りについて調べる	若狭歴史博物館
13 14 15	塩作り体験 地域の歴史について学ぶ 学習のまとめ	ブルーパーク阿納

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

2-2. 本時の目標

- ・地域の施設を活用することで、地域の魅力を実感する。
- ・体験を通じて、内外海の自然の素晴らしさを体感する。
- ・地域の基幹産業である漁業について理解を深める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>2 艇に分かれて、蘇洞門に向けて出港する。</p> <p>久須夜ヶ岳の反対側にある滝や洞窟などを観察し、岩の色が変化していることに気づくことができた。</p>  <p>蘇洞門の内側から見学し、校歌に載っている景勝地について実感を伴った理解を深めることができた。</p> <p>沖の石に寄り、思った以上の大きさに驚いていた。</p> <p>阿納の養殖筏にいき、タイのえさやり体験やフグの養殖の仕方を学んだ。</p>  <p>学校に戻ってから感想をまとめる。</p>	<p>安全に乗船できるように指導する。</p> <p>児童の関心が向くように、解説を入れながら観察を促す。</p> <p>体験を通して、内外海地区の自然の素晴らしさを感じたり、養殖業の工夫を知ったりできる。(ふり返り・感想)</p>

3. 今回の活動の自己評価

校歌の歌詞にある身近な「蘇洞門」や「沖の石」も、近くまで行って見る機会はほとんどないので、貴重な体験ができた。また、養殖業の工夫などを知ることができ、今後、鯖など他の魚について学習していくときに、比較して考えることができると考える。

安全面のために2艇に分かれての体験だったので、それぞれで船長さんから話してもらうことが異なっていたので、どのような話があったのかを共有することが課題であった。

地域の自然などの魅力を十分に感じることで、目標を達成することができた。

4. 今後の課題

- ・フグの養殖については、今回知ることができなかった工夫や苦労などを探っていく。
- ・体験したことをマップやガイドブックとしてまとめ、他の学年に発信していく。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点